

# 山梨の土地改良

VOL. 181 2025.1



豊かで持続可能な農業・農村をめざして  
みどり  
水土里ネットやまなし



第18回やまなし農村風景写真コンクール 「雪晴れに咲く」  
撮影場所：忍野村

## CONTENTS

内藤会長挨拶	1
農政部長挨拶	2
農政部耕地課長挨拶	3
二階俊博全土連会長挨拶	4
進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問挨拶	5
宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問挨拶	6
国・県への要請活動	7
農業農村整備の集い	9

第46回全国土地改良大会（千葉大会）	10
第2回農業農村整備技術研修会	
・令和6年度農業農村整備に関する意見交換会	11
第8回やまなし水土里を育む集い	12
令和6年度統合整備推進研修（会計研修）	
・やまなし水土里ネット女性の会	
「スタディーツアー in 村山六ヶ村堰」を開催	13
第18回やまなし農村風景写真コンクール入賞作品	14
新年のご挨拶・変更届の提出について	15

## ごあいさつ

山梨県土地改良事業団体連合会

会 長 内藤 久夫



あけましておめでとうございます。

会員及び関係者の皆様には、平素より本会の業務運営並びに本県の農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご尽力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

本年も役員、会員の皆様はもとより、関係各位のご支援を賜りまして会の運営を行って参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

はじめに、昨年1月に発生した能登半島地震、9月の奥能登豪雨により被害に遭われた皆様におかれましては心よりお見舞い申し上げるとともにお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

本会としても、昨年、集落排水施設の被災状況の調査として職員3名の派遣を行ったところであり、引き続き、被災地域の一日も早い復興に向けた支援をしております。

現在、国際社会は、地球温暖化や大規模災害の頻発化による食料生産の不安定化、人口増加等に伴う食料争奪の激化、食料の生産資材価格の高騰など、様々な問題が発生しており、食料安全保障への影響が懸念されています。本県の農業農村においても、人口減少の波が強く押し寄せ、農業従事者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理や営農の継続が困難になるなど、厳しい状況にあります。

命を支える食料の確保は、国内外の情勢いかににかかわらず後回しにできない国民ニーズであり、我が国の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

そのためには、農地の大区画化・汎用化等の条件整備とその集積・集約をはじめ、スマート農業の展開に向け

た基盤整備、農業水利施設等の維持・更新を適時適切に行い、若者や意欲ある農業者が夢を持って農業に取り込めるような元気で豊かな農村を次世代に引き継いでいくことが極めて重要であります。

加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化の進行も著しく豪雨や地震が頻発しており、南海トラフ地震への対応も懸念される中、国民の生命と財産を守るためにも、洪水被害防止対策やため池の耐震化などの農村地域の防災・減災対策の迅速な対応も求められております。

本県の農業用ため池については、県が定めた「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づき、「山梨県ため池サポートセンター」において、令和3年度以降、技術的指導や点検などを行っており、今年度末で全体の約8割(72施設)の指導が完了します。今後も、県と共に農村地域の安全・安心な生活の確保に取り組んで参りたいと考えております。

そのような中、昨年12月の国の令和7年度概算決定において、令和6年度補正予算と令和7年度当初予算と合わせて、本年度を上回る総額6,500億円となり、食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、土地改良法や関連する支援制度の充実はもとより、農村整備事業の着実な振興が期待されるところであります。

今後も、国や県の施策に呼応し、地域の実情を踏まえた支援に努めるとともに、豊かで持続可能な農業農村をめざして、国、県、市町村、土地改良区をはじめとする関係機関との連携を図り、会員の皆様のニーズに応えられるよう、取り組んで参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 新年の挨拶

山梨県農政部

部長 原田 達



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

山梨県土地改良事業団体連合会の会員の皆様におかれましては、平素より、県農業行政、とりわけ農業農村整備事業の推進に格段の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、「山梨県ため池サポートセンター」の適切な運営に多大なる御協力をいただいております、重ねて御礼申し上げます。

さて、昨今の地球温暖化の影響による異常気象や燃料・資材価格の高騰、国内外における産地間競争の激化など、農業を取り巻く環境が依然厳しい状況にある中、令和5年の本県の農業生産額は、生産者の皆様の弛まぬ御努力と農業用施設の維持管理に携わる土地改良区の皆様の御尽力により、3年連続で1千100億円を超え、県産果実の輸出量につきましては、1千190トンと過去最高を更新しました。

また、新規就農者につきましても、8年連続で300人を超え、令和5年度の実績では、344人と過去最多を記録いたしました。

こうした流れを確実なものとし、本県の基幹産業である農業の成長産業化を図るためには、生産者が豊かさを実感できることが何よりも重要であります。

このため県では、本県農業の基本指針である「やまなし農業基本計画」において「生産者の所得の向上」を目指すべき姿とし、「農畜水産物のブランド価値の向上」と「生産基盤の更なる強化」の2つの目標を掲げ、各種施策の推進に鋭意取り組んでいます。

このうち、農業農村整備においては、生産者の所得向上の土台となるほ場や農道、水路などの生産基盤

の整備を着実に推進することで、生産性の向上とコスト削減、担い手への集積や荒廃農地の発生防止に繋げて参ります。

また、現在、県内各地では、将来の農業や農地利用の在り方を明確化する地域計画の策定が進められております。

この地域計画の実現に向け、地域との合意形成のもとに分散した農地を集約するなど必要な整備を推進し、新規就農者をはじめとした担い手に生産条件の整った農地が提供ができるよう取り組んで参ります。

これら生産基盤の強化に加え、サンシャインレッドや夢桃香など県オリジナル品種の早期産地化などの取り組みも進め、本県が国内外の消費者に選ばれ続ける産地となるよう競争力の強化を図って参ります。

更に、頻発化する大規模自然災害から県民の皆様の生命、財産、暮らしを守るため、防災重点農業用ため池の耐震・豪雨対策や老朽化した排水機場の更新、土砂災害防止施設の整備など、防災・減災対策を計画的かつ着実に進めることで、農村地域の強靱化を推進して参ります。

本年も、本県農業の更なる発展に向けて、農政部職員一丸となって鋭意取り組んで参りますので、皆様方の一層のお力添え賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と、会員の皆様の一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

## 新年の挨拶

山梨県農政部耕地課

課長 浅川 一輝



新年明けましておめでとうございます。

山梨県土地改良事業団体連合会の会員の皆様におかれましては、常日頃より、農業農村整備事業の推進にあたりまして、多くのお力添えをいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、昨今、気候変動による自然災害の多発や急激な人口減少に伴う国内需要の減少、高齢化による生産者の減少など、農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化している中、昨年、四半世紀ぶりに「農政の憲法」と呼ばれる「食料・農業・農村基本法」が改正（令和6年5月29日成立、6月5日公布・施行）されました。

この改正法では、情勢の変化に対応し、食料安全保障の抜本的な強化、環境と調和の取れた食料システムの確立、農業の持続的な発展のための生産性の向上、農村における地域社会の維持等を図るため基本理念が見直しされるとともに、関連する基本的施策が定められました。

この中で、農業農村整備関連では、これまでの農業生産基盤の整備に「保全」が加えられ、整備と保全の両面から必要な施策を講じることが明記されました。

今後も、施設の老朽化の進行や異常気象による災害リスクの増大、更なる人口減少等が想定される中、改正法の新たな基本理念に基づき、あらゆる事態に的確に対応できるよう取り組みを進めていくことが重要となります。

県では、こうした動きに呼応し、生産者の所得向上を実現するため、「農村地域の保全と基盤整備」と「防災・減災対策による農村地域の強靱化」を柱

に農業農村整備事業を推進しております。

作業性の良い農地への再編整備等により、生産性の向上とコスト削減を図るとともに、増加傾向にある新規就農者への生産条件の良い農地の提供や、地域計画の実現に向け担い手への農地の集積・集約化に繋げる基盤整備を計画的に進めて参ります。

また、全国各地で自然災害が頻発化・激甚化している状況を踏まえ、県民の皆様の生命・財産を守るため、防災重点農業用ため池の耐震・豪雨対策や、老朽化が進む農業水利施設の更新整備など農村地域の強靱化に向けた取り組みを着実に進めて参ります。

しかし、これらの施策を着実に進めていくためには、農業農村整備事業の予算をしっかりと確保することが重要であります。

国の農業農村整備事業予算も、令和6年度補正予算と令和7年度当初予算を合わせると約6,500億円となり、昨年度を上回る予算規模となりました。このことは、貴会役員の皆様の力強い要請活動のおかげであり、ここに厚く御礼を申し上げます。

県といたしましても、地域のニーズに即した整備を着実に推進していくため、補正予算並びに令和7年度予算につきまして、しっかりと必要額を確保すべく取り組んで参りますので、引き続き御協力をお願いいたします。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう心より御祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階 俊博



令和7年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、年始めの1月1日に石川県能登地方を震源とした震度7の大地震が発生し、能登半島を中心に甚大な被害が発生するとともに、9月には記録的な豪雨により奥能登ではさらに被害が増し、能登半島は未だ復旧、復興の途にあります。

また、全国各地で記録的な豪雨が相次ぎ、大きな被害が発生しました。被害を受けられた地域の日も早い復旧・復興を祈念するとともに、我々土地改良団体も団結して被災地の支援に取り組んでいかなければなりません。

さて、令和7年の干支は乙巳（きのとみ）であります。努力を重ね、物事を安定させていくという意味合いを持ち、これまでの努力や準備が実を結び始める時期とされています。これまで我々土地改良関係者が積み重ねてきた様々な努力が実を結ぶ年となることを強く祈念するところです。

昨年、食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の強化」、「環境と調和のとれた食料システムの確立」が新たな柱に位置付けられました。令和7年度農林水産関係予算は、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算となっており、農業農村整備事業関係予算においては4,464億円が確保され、令和6年度補正予算を加えると6,500億円となります。皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽

力に厚く御礼を申し上げます。

第5次男女共同参画基本計画及び土地改良長期計画において、令和7年度までに女性理事が登用されていない土地改良区及び土地改良区連合をゼロに、併せて女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標に設定されており、いよいよ最終年度を迎えました。皆様の御理解をいただき着実に女性理事の登用が進められてきたところですが、目標達成に向け、更なる取組をお願いしたいと思います。将来の土地改良団体の体制強化と発展には女性の力は必要不可欠です。女性が活躍できる環境づくりに関係各位の一層の御理解と御協力をお願いします。

そして、本年は我々の職域の代表である宮崎雅夫さんの勝負の年ともなります。

もう一人の代表である進藤金日子さんと共に全国津々浦々の現場を回り、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。二人体制の重要性を十分に御理解いただき、皆さんの声を国会に届けるためにお二人の活動の支援をお願いします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。「闘う土地改良」を旗印として組織一体となって更なる闘いを続けていこうではありませんか。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

## 新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子



山梨県土地改良事業団体連合会の皆様には、平素よりお世話になっています。

昨年元旦に能登半島地震、8月に宮崎県沖地震が発生し、南海トラフ地震の発生可能性が高まり、巨大地震注意臨時情報が発表されました。改めて地震大国日本を感じ、国土の防災・減災、国土強靱化を進めていく必要性を痛感した1年となりました。

昨年6月には食料・農業・農村基本法が改正され、初動の5年間で「農業構造転換集中対策期間」として農業政策の再構築を図ることとしており、本年は初動一年目の重要な年となります。

また、私は一昨年の12月14日から約11ヶ月間、財務大臣政務官を務め、国の財政について日常的に接する機会を得ました。国家財政の観点からも我が国の将来像を考えていく必要があります。

さて、現在の防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策は、計画期間が令和3～7年度、事業規模は概ね15兆円程度となっています。現在、次期対策の国土強靱化実施中期計画の検討が進められていますが、この計画に土地改良について「農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策」や「防災重点農業用ため池の防災・減災対策」等を位置付け、事業規模も現対策以上の規模を確保する必要があります。

次に農政については、本年3月までに食料・農業・農村基本計画が策定されます。政府の方針は、「輸入依存度の高い麦・大豆の増産、水田政策を見直す取組、輸出の抜本拡大を図る取組等について効果的な政策を基本計画に盛り込む」（令和6年8月27日、「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」）ことであり、今後、具体的な検討が進められます。

食料安全保障の確保のためには、食料自給力の強化が不可欠で、①土地改良対策、②担い手対策、③試験・研究、普及・生産対策をパッケージで実施することが必要です。このうち、土地改良については、令和6年度補正予算の2,037億円と令和7年度当初予算政府原案の4,464億円を加え、6,500億円の予算を確保しました。この予算を活用して対策を進めていく必要があります。

最後に我が国財政を見てみます。令和6年度末の公債残高は、特例公債（いわゆる赤字国債）残高が803兆円、建設公債残高が298兆円で1,105兆円となる見込みです。この15年間に公債残高はほぼ倍増し、赤字国債は2.26倍、建設公債は1.25倍となっています。建設国債は社会資本ストックを後世代に残すことから、後世代に負担を求めることが可能ですが、赤字国債の負担を求めることは困難です。デフレから完全脱却して経済成長を促し、将来にわたり税収を増やして財政の健全化を図り、後世代の負担を軽減し、政策選択の自由度を確保することが重要です。

農政や国土強靱化、我が国経済の転換の節目である令和7年のはじめにあたり、決意新たに農業農村の振興、国家の発展に向けまい進していきたいと考えています。同志の宮崎雅夫議員共々皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げますとともに、山梨県土地改良事業団体連合会の一層のご発展とご繁栄をお祈りいたします。



## 新年のあいさつ

全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫



山梨県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

また、昨年も能登半島地震をはじめ、全国各地で甚大な災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常生活を取り戻して頂けるよう、復旧・復興に最大限の努力をしております。

さて、昨年は、社会情勢の不安定化等に起因し、食料や資材価格等が高騰するとともに、全国的に食料供給に対する懸念も広がった1年でした。食料は、生命維持に不可欠なものであり、どのような事態が生じたとしても安定的に確保することが国の責務であります。このような状況に対応するため、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」を大幅に改正しました。

私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、それぞれの状況に即して、国政の場から全力で対応してまいりました。土地改良関係の令和6年度補正予算では、昨年度の補正予算から260億円増の2,037億円を確保できました。加えて、12月に閣議決定した令和7年度当初予算案では、前年度を上回る4,464億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,500億円を確保することができました。皆様方のご尽力に

感謝申し上げますとともに、次期通常国会において、早期成立に向け努力してまいります。

また、改正基本法に沿って、土地改良法を始めとする関係法令等の新設・改正を行うこととしていきます。特に、本年は改正基本法を実効あるものとしていく「農業構造転換集中対策期間」5ヶ年がスタートする年であり、より良い施策展開のためには、現地課題等を十分に把握し、それに対応したものとなるよう全力で対応してまいります。

本年は私にとって節目の年となりますが、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいり決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。

# 山梨県農業農村整備推進協議会 要請活動

山梨県農業農村整備推進協議会（会長 内藤久夫）は、去る令和6年11月22日、自民党、公明党、財務省、農林水産省、県選出国會議員へ農業農村整備事業関係の令和7年度予算確保へ向けて以下の2項目について要請しました。

## 要請内容

- 1 農業農村整備事業関係の令和7年度予算の十分な確保について
- 2 農村地域の防災・減災対策の着実な推進について



小野寺五典 自民党政調会長



山本佐知子 農林水産政務官



角田秀穂 農林水産部会長（公明党）



県選出国會議員

左から 永井 学 参議院議員  
森屋 宏 参議院議員  
赤池誠章 参議院議員  
堀内詔子 衆議院議員



進藤金日子 参議院議員（豊秘書）



宮崎雅夫 参議院議員（坪田秘書）





財務省 山川清徳主計官



農林水産省 青山健治 農村振興局次長



農林水産省 緒方和之 整備部長

## 山梨県に農業農村整備事業関係予算の確保に関する要請

令和6年10月28日 本会の内藤会長、山下副会長及び理事7名、監事2名において長崎知事、長田副知事、原田農政部長を訪れ、令和7年度当初予算の編成にあたって引き続き十分な予算の確保をいただけるよう要請しました。



長崎幸太郎 山梨県知事へ要請



長田 公 山梨県副知事へ要請



原田 達 山梨県農政部長へ要請

# 農業農村整備の集い

～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

令和6年11月5日 砂防会館別館「シェーンバッハ・サポー」において、令和6年度補正予算及び令和7年度当初予算の確保に向けた農業農村整備の集いが開催されました。全国から土地改良関係者1,200名が参集し、山梨県からは楯無堰土地改良区 今村理事長をはじめ19名が参加しました。

はじめに、二階俊博全土連会長より、「令和6年能登半島地震により被災された皆様、全国各地で発生している豪雨被害等により被災された皆様に心からのお見舞いと、現在は、来年度予算編成に取り組んでおり、農家の皆様に期待をもって、安心して働いていただける環境を作るために我々は十分な土地改良予算の確保に向け一致団結して取り組む必要がある」と挨拶を述べました。

また、来賓の小里泰弘農林水産大臣、城内実経済安全保障担当大臣、森山裕自民党幹事長、西田実仁公明党幹事長、宮崎雅夫・進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問など多くの方々よりご祝辞をいただきました。

来賓祝辞に続いて、要請文提案、令和6年能登半島地震の被害状況等報告として、水土里ネット石川の前寺副会長から被害と復旧状況の報告を行い、復旧に向けた取組み状況が紹介されました。

最後に、全国水土里ネット女性の会会長らによる、力強い「ガンバロウ三唱」の発声と盛大な拍手をもって閉会しました。

集い終了後は、県選出の国会議員へ要請活動を行いました。



二階 俊博 全土連会長



宮崎 雅夫 全国水土里ネット会長会議顧問



進藤 金日子 全国水土里ネット会長会議顧問



森屋 宏 参議院議員



# 第46回全国土地改良大会（千葉大会）

令和6年10月22日 全国から約4,000人余の土地改良関係者が参集した全国土地改良大会(千葉大会)に、本県からは山梨県、会員土地改良区等及び本会役員の総勢108名が参加しました。

今年のスローガンは**ふさの国から飛び立て水土里の恵み力強く未来に繋ごう水土里の礎**です。大会は“水土里の地”千葉にて今ある水土里豊かな暮らしを未来に向かって守っていくために農業・農村の重要性を全国の皆様と共有し発信する場となりました。

土地改良事業功績者として全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された楯無堰土地改良区の中澤 明様に改めてお祝い申し上げるとともに、本大会の企画・運営をしていただいた千葉県土地改良事業団体連合会をはじめ関係者の皆様には、大変お世話になりました。本紙面をお借りして感謝申し上げます。



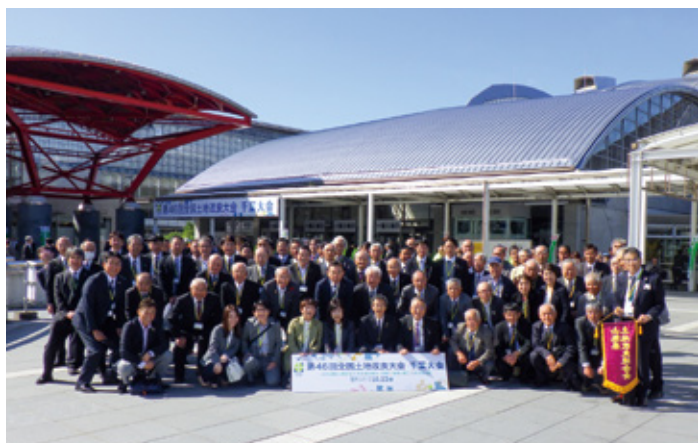
全土連会長賞受賞 楯無堰土地改良区 理事 中澤 明様



受賞者と県土連役員記念撮影



受賞者と楯無堰土地改良区役員記念撮影





# 令和6年度 第2回農業農村整備技術研修会

令和6年11月29日 山梨県自治会館講堂において、令和6年度第2回農業農村整備技術研修会を開催しました。この研修会は山梨県建設業協会、山梨県土地改良技術協議会、山梨県土地改良事業団体連合会の三団体共催で農業農村整備事業に携わる関係者が技術力向上等を目的に開催しており、研修会には県、市町村、土地改良区、建設業協会、土地改良技術協会、土地連職員等約250名が参加しました。共催団体の挨拶の後、来賓として農政部耕地課 浅川課長より挨拶をいただきました。また、全国土地改良会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員よりお祝いのメッセージをいただきました。

講演では、山梨県農政部耕地課 流石技術指導監より「農業用ため池の現状と山梨県における防災減災対策について」と題し、山梨県内における、ため池管理保全法の施行状況や防災重点農業用ため池の整備状況について講演をいただきました。

続いてアジア航測(株) 先端技術研究所 千葉研究室 千葉室長より「赤色立体地図の原理と応用及び設計施工」について、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 施設工学研究領域 研究領域長 施設保全 森グループ長より「農業水利施設のストックマネジメント技術」をテーマに講義をいただきました。



山梨県土地改良事業団体連合会  
内藤会長



山梨県建設業協会  
桜井副会長



山梨県土地改良技術協議会  
坂本会長



山梨県農政部耕地課  
浅川課長



全国水土里ネット会長会議顧問  
宮崎雅夫参議院議員

## 農業農村整備に関する意見交換会

令和6年11月18日、山梨県防災新館において農業農村を巡る状況の変化や土地改良事業の対応について意見交換会が開催されました。

農林水産省から農村振興局 整備部 水資源課 志村施設保全管理室長をはじめ5名の出席があり、山梨県からは農政部 原田部長をはじめ、多くの幹部の方々が出席されました。

本会からは、清水専務理事、山本参事が出席し、農業農村を取り巻く情勢について意見交換を行いました。





# 第8回やまなし水土里を育む集い

(多面的活動組織の表彰と活動報告)

山梨県多面的機能推進協議会は、去る令和6年12月17日、東京エレクトロン韮崎文化ホールにおいて第8回やまなし水土里を育む集いを開催し、農村環境保全などの多面的機能保全活動を積極的に行った3組織が表彰されました。講演として栃木県で活動している益子町農地水多面的機能保全推進協議会 川畑早月様より、組織の広域化を図った事例について発表をいただきました。



長崎幸太郎 山梨県知事 挨拶



清水一也 協議会会長 挨拶



益子町農地水多面的機能保全推進協議会 基調講演

## ○山梨県知事賞 西嶋地域環境保全活動委員会 (身延町)

代表者：望月 佳親 様

取組面積：17.99ha (田 16.59 ha、畑 1.40 ha)

### 主な活動

- ・県外者が旅行で訪れた際に、この地域の自然に魅了され定住して、あけぼの大豆の栽培や地域おこし協力隊として活動に取り組み、地域の活性化に繋がっている。
- ・防災・減災力の強化として、地域組織と連携し地区内の大排水路及び排水機場の点検や清掃を行っている。



## ○山梨県農政部長賞

富士ヶ嶺活動組織 (富士河口湖町)

代表者：水越 富志夫 様

取組面積：210ha (草210.00ha)

### 主な活動

- ・農地の貸し出しによって、県外者が定住して酪農に取り組み、遊休農地対策や地域の活性化に繋がっている。
- ・育成会と連携して、農道や遊休農地の植栽を行い、景観形成や農村環境保全、地域交流の活性化に繋がっている。



## ○山梨県多面的機能推進協議会長賞

上小倉多面的機能活動組織 (北杜市)

代表者：丸茂 芳人 様

取組面積：13.70ha (田 13.70ha)

### 主な活動

- ・農地の貸し出し(中間管理機構)によって、県外者が定住してブドウの栽培及びワイン造りに取り組み、遊休農地の解消対策や地域の活性化に繋がっている。
- ・水路や農道の補修を直営施工にて取り組んでいる。





## 令和6年度統合整備推進研修(会計研修)の開催

令和6年12月6日 山梨県自治会館研修室において、令和6年度統合整備推進研修(会計研修)を開催いたしました。

講師として、全国土地改良事業団体連合会支援部 部長 市村様、主幹 田中様に来会いただき、財務諸表等の作成における基礎から実践まで、財務分析の手法について講義いただきました。

研修科目	講師
1. 財務諸表等の作成手続き(基礎編)(実践編)	全国土地改良事業団体連合会支援部 主幹 田中 克哉
2. 会計処理事例紹介	全国土地改良事業団体連合会支援部 部長 市村 和寿
3. 財務諸表等を活用した財務分析の方法	



清水専務理事 挨拶



全土連 支援部 市村部長



全土連 支援部 田中主幹



## やまなし水土里ネット女性の会

### 「スタディーツアー in 村山六ヶ村堰」を開催

令和6年9月27日 やまなし水土里ネット女性の会「スタディーツアー」を開催しました。

村山六ヶ村堰は、平成18年に全国疎水百選に選ばれ、平成28年には世界かんがい遺産に登録された歴史ある堰であり、本研修は、水土里ネット女性職員の情報交換の場、また実際の現場を見ることにより知識や情報の向上を図るために開催しております。今回の研修には、水土里ネット女性の会を盛り上げていく活動にご賛同いただいている本会の女性理事である、風間ふたば理事にもご出席いただきました。

今後も職員並びに土地改良区の女性理事登用にに向けて、女性の輪を広げる活動を行っていきます。

## 土地改良区に 女性理事を登用しましょう!!

組合員だけでなく、  
員外理事  
でもOK

組合員からの理事の登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます。(定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能)  
組合員のご家族、会計士や6次産業に携わっている方、他にも農業団体に役員を務める方などの参画が期待できるのではないでしょうか。



### 成果目標

令和7年度までに女性理事が登用されていない土地改良区を**ゼロ**に! 土地改良区の理事に占める女性の割合**10%**以上を目指しましょう!





# 第18回 やまなし農村風景写真コンクール入賞作品

やまなし農村風景写真コンクール(山梨県農政部耕地課主催)の受賞作品が決定しましたのでご紹介いたします。

■山梨県知事賞  
「富士に咲く」  
渡邊 勝様  
撮影場所：山中湖村



■審査委員長賞 「賑わう空 実る秋」  
とがわ ゆかり様/撮影場所：富士川町



■農政部長賞 「朝陽を受けて」  
横森 賢治様/撮影場所：北杜市

## 第18回やまなし農村風景写真コンクール 受賞者

賞名	受賞者名	作品名	撮影場所
山梨県知事賞	渡邊 勝	富士に咲く	山中湖村
審査委員長賞	とがわ ゆかり	賑わう空 実る秋	富士川町
農政部長賞	横森 賢治	朝陽を受けて	北杜市
季節賞(春)	細井 健司	朝光に浮かぶ	富士川町
季節賞(夏)	秋山 真吾	シャイン美味しい	南アルプス市
季節賞(秋)	土橋 亮	瑞穂の舞	身延町
季節賞(冬)	神足 勝英	雪晴れに咲く	忍野村

野菜賞	五十嵐 俊夫	もろこしの華咲く頃	忍野村
ハイスクール賞	小林 大輔	ハヶ岳の秋	北杜市
ハイスクール賞	丸山 月碧	不毛な土地の結晶	富士川町
入選	浅川 実李	お田植え日より	北杜市
入選	眞田 幸彦	今年も豊作	韮崎市
入選	沢登 圭造	農閑期	南アルプス市
入選	沢登 幸治	桃花橋に照らされて	南アルプス市
入選	土屋 美恵子	愛でる美景	韮崎市
入選	内藤 均	桃収穫の頃	南アルプス市
入選	名倉 盾	秋の実りと吊し雲	富士吉田市
入選	野中 光征	夕景の白菜植付け	北杜市
入選	西山 昌敏	小春日和	甲州市
入選	堀内 優太	豊作	南アルプス市
入選	矢ヶ崎 新助	柚のこり 柚	富士川町
入選	渡邊 大	富士山麓の初夏	山中湖村

※入賞作品は、山梨県のホームページに掲載しております  
<https://www.pref.yamanashi.jp/kouchi/syasin18/syasin18.html>

# 謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします

## 水土里ネットやまなし

山梨県土地改良事業団体連合会

- |       |                  |        |
|-------|------------------|--------|
| 会 長   | 葦崎市長             | 内藤 久夫  |
| 副 会 長 | 笛吹市長             | 山下 政樹  |
| 副 会 長 | 南部町長             | 佐野 和広  |
| 専務理事  | 学識経験者            | 清水 一也  |
| 理 事   | 甲斐市長             | 保坂 武   |
| 理 事   | 都留市長             | 堀内 富久  |
| 理 事   | 笛吹川沿岸土地改良区理事長    |        |
| 理 事   | 山梨市長             | 高木 晴雄  |
| 理 事   | 甲州市長             | 鈴木 幹夫  |
| 理 事   | 釜無川右岸土地改良区連合理事長  |        |
| 理 事   | 南アルプス土地改良区理事長    |        |
| 理 事   | 南アルプス市長          | 金丸 一元  |
| 理 事   | 身延町長             | 望月 幹也  |
| 理 事   | 小菅村長             | 舩木 直美  |
| 理 事   | 山梨県農業委員会女性委員の会代表 | 小俣 俊子  |
| 理 事   | 山梨県立大学特任教授       |        |
| 総括監事  | 山梨大学名誉教授         | 風間 ふたば |
| 監 事   | 楯無堰土地改良区理事長      | 今村 正城  |
| 監 事   | 徳島堰土地改良区理事長      | 清水 久司  |
| 他職員一同 |                  |        |



## 変更届の提出をお願いします

理事長や住所等に変更があった場合は変更届の提出をお願いします。様式については、下記までお問い合わせください。

問合せ先

山梨県土地改良事業団体連合会  
総務部 総務課  
TEL 055-235-3653

山梨県土地改良事業団体連合会  
会長 内藤 久夫 様

年月日

理事長 土地改良区

変 更 届

このたび、下記のとおり変更しましたので、定款第10条の規定によりお届けします。

1 変更事項

理事長	(ふりがな) 氏 名	
	自宅住所	
	自宅電話番号	
事務所所在地		
事務所電話番号		
メールアドレス		

2 変更年月日 令和 年 月 日



山梨の土地改良 VOL.181

発行：令和7年1月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会  
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階  
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174  
URL : <https://www.yamanashi-doren.or.jp>  
E-mail : [syomu@yamanashi-doren.or.jp](mailto:syomu@yamanashi-doren.or.jp)

